

**平成30年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果**  
(平成31年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成30年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成31年3月

観光営業部長 江端 誠一郎

項目	実施結果
<p>1 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略</p> <p>◇「幸福日本一・福井」の新ブランド戦略【部局連携】</p> <p>○「福井の知名度・好感度」全国上位へチャレンジ施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏を中心に、映画「ジュラシック・ワールド炎の王国」の公開やドラマ「チア☆ダン」の放送などの話題性を活用し、全国に向けてタイアッププロモーションを展開します。</li> <li>・幕末明治福井150年博などイベントの開催や、季節ごとの食材や行事等に合わせて、旅行会社への商品造成の働きかけや観光プロモーション、メディアへの情報発信などを一体的に推進し、にぎわいを創出します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>映画「ジュラシック・ワールド 炎の王国」の公開に合わせ、全国103の映画館において恐竜博物館のCMを上映するとともに、東京、大阪、名古屋の百貨店において恐竜博物館所蔵の恐竜全身骨格を展示するイベントを開催するなど、多くの方に「恐竜王国福井」をアピールしました。</p> <p>ドラマ「チア☆ダン」については、県内ロケを誘致し、JR福井駅西口恐竜広場や本県の郷土料理等がドラマ本編で数多く登場するなど、本県の魅力が全国に発信されました。これらにより、大手旅行予約サービスが発表した秋の国内旅行人気調査において、本県が昨年同期比24.2%増となり全国1位の伸び率を記録したほか、ロケ撮影をきっかけに地域を盛り上げ、活性化させたとして、第9回ロケーションジャパン大賞の優秀賞を受賞しました。</p> <p>また、NHKの人気番組「ブラタモリ」において、12月に東尋坊や恐竜博物館が、2月に一乗谷朝倉氏遺跡や福井城址などが取り上げられ、本県の歴史遺産等が全国に効果的に発信されました。</p> <p>市町や観光事業者と連携し、150年博や食、イベント情報等を、東京・大阪での観光商談会等で旅行会社に提供し、商品造成を働きかけるとともに、出向宣伝やSNS、メディア露出等を通じて県内外に広く発信したことにより、17件の150年博関連ツアーの造成等につながりました。</p> <p>ハピテラスでの食イベントに合わせて150年博のPRや「三岡へっつい」で炊いた「いちほまれ」のふるまいなどを市町や団体と連携して行いました。併せて、会場付近の食や観光情報をホームページやSNS等で発信し、まちなかの賑わいを創出しました。</p> <p>国体・障スポ期間中は、県庁でプロジェクトマッピングを実施したほか、市町のライトアップ(16事業)を同期間に集中開催するよう働きかけました。これらを含む90のライトアップ事業の情報を取りまとめ、ホームページやSNS等により発信するなど、光を活用したにぎわいづくりに取り組みました。</p>

項 目	実 施 結 果
<p>○福井のアニバーサリー  <b>チャレンジ施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕末明治福井150年博については、歴史博物館において、本邦初公開資料等を展示する特別展を開催するほか、県・全市町の文化施設において、幕末明治に関する企画展を切れ目なく開催します。</li> <li>国体・障スポの来県者や県外観光客などに、県内各地の企画展などを通して福井の歴史に触れる機会を提供します。</li> <li>四賢侯シンポジウムや天狗党の足跡を巡るツアー、インターネットでの「幕末明治福井検定」など、ゆかりの県との連携事業や若者・女性の参加を促す多彩なイベント等を展開するほか、旅行会社への売り込みやメディア等への情報発信を行います。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>3月24日の開幕から11月末までの8か月半、「幕末明治の福井」という共通テーマの下、県と市町が連携し、県内35の文化施設において、62の特別展や企画展を開催し、約32万人が観覧しました。</p> <p>歴史博物館においては、メイン展示の一つとして特別展「幕末明治の激動と福井」を開催し、国宝や重要文化財、坂本龍馬の花押入り書簡など本邦初公開資料を含む100点以上の実物資料を一挙に公開しました。全国から約8,400人が観覧し、来館者の8割以上から高い評価を得ました。</p> <p>国体・障スポの文化プログラムの大きな柱として、開催期間に合わせ、県と福井市の歴史博物館等においてメイン展示を開催したほか、県内全市町の文化施設において質の高い展示を開催しました。また、リレー講演会等の歴史講演会、「話す先人映像」の巡回展、歴史博物館での大河ドラマ特別編集映像の放映など各地での165回の多彩なイベントを開催し、本県の歴史に触れる機会を提供しました。イベントには約32万人が参加し、全体の参加者は約64万人に上りました。</p> <p>こうした展示・イベントを通じて、様々な分野で活躍した先人の生涯や功績について多くの県民が改めて理解を深め、県民の自信と誇り、次世代継承への意識も高まりました。</p> <p>ゆかりの県や地域との連携による「四賢侯シンポジウム」や「4県アンテナショップ巡り」、「水戸天狗党ゆかりの茨城県との連携ツアー」などを開催し、全国に向けて本県が果たした重要な役割を強くアピールしました。</p> <p>また、若者や女性も親しみやすく参加できるよう、インターネットでの「幕末明治ふくい検定」や「幕末の地を巡る謎解きクイズラリー」などを開催しました。</p> <p>NHKBS「英雄たちの選択」、NHK総合「歴史秘話ヒストリア」の放送、書籍「由利公正」の発刊、雑誌「歴史街道」、「歴史人」への掲載など、福井の先人がこれまでになく多数の全国番組や全国誌に取り上げられ、全国から大きな注目を集めました。</p> <p>歴史博物館で公開した坂本龍馬や西郷隆盛の書簡や若狭歴史博物館で公開した小浜・発心寺の駕籠の特別公開についても、全国紙や全国ニュースで大きく報道され、本県の先人の活躍が広く知れるところとなり、全国における認知度向上にもつながりました。</p>

項目	実施結果
<p>○福井が舞台の「大河ドラマ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕末明治や戦国に活躍した本県の先人たちが主人公となり、福井を舞台とした大河ドラマの実現に向け、大河ドラマ誘致推進協議会を中心に、NHKへ強力に働きかけます。</li> <li>歴史番組や雑誌、小説、ドラマ等で取り上げてもらえるよう、幕末明治福井150年博の展示等について情報提供するなど、NHKをはじめ民放、出版社等に対する営業活動を強化し、本県の先人の知名度向上を図ります。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>6月に大河ドラマ誘致議員連盟とともにNHK会長に要請を行ったほか、明智光秀が主人公の大河ドラマ「麒麟がくる」の制作関係者に対して、本県でのエピソードを提供し一乗谷などが舞台として取り上げられるよう働きかけました。</p> <p>NHKの人気歴史番組「英雄たちの選択」や「歴史秘話ヒストリア」において、松平春嶽公や橋本左内、由利公正の功績が相次いで取り上げられたほか、大手出版社から由利公正の伝記が出版されるなど、幕末明治期に活躍した本県の先人を全国にPRしました。</p> <p>また、首都圏において、明治大学や江戸東京博物館と連携した歴史講座を開催したほか、大阪市内でも幕末明治期の先人に関する展示を実施するなど、県外での知名度向上を図りました。</p>
<p>◇「恐竜溪谷100万人構想」の実現 【部局連携】</p> <p>○楽しみ学べる恐竜博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>恐竜系統図等を作成し恐竜授業等において活用するほか、企業と共働した子ども向けの恐竜セミナーを開催するなど、恐竜博物館の教育普及機能を強化します。 <b>チャレンジ施策</b></li> <li>勝山市の「恐竜LABO」の活動を支援するなど、地域における恐竜学習の場を提供することにより、子どもたちが恐竜に関心を高める機会を増やし、ふるさとへの愛着を醸成します。 (平成29年度 80万人)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>恐竜博物館入館者数 90万人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな恐竜博物館について、整備の可能性を探るため、博物館に必要な機能や概算事業費、経済効果等について改めて整理します。また、整備・運営手法や立地場所について検討します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>恐竜の生態や進化について理解を深めてもらえるよう、恐竜博物館所蔵の標本を掲載した恐竜系統図を制作しました。</p> <p>また、大手教育サービス企業と共働し、8月に野外恐竜博物館での化石発掘体験等、恐竜のことを楽しく学べる子ども向けの恐竜セミナーを開催しました。</p> <p>勝山市の小学生で組織する「恐竜LABO」において恐竜博物館の研究員が説明を行うなど、子どもたちの恐竜に対する興味・関心を高めました。</p> <p>映画「ジュラシック・ワールド炎の王国」とのタイアッププロモーションや映画にも登場した肉食恐竜として人気の高い獣脚類をテーマとした特別展を開催したことなどにより、博物館の入館者数は過去最高を記録しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>恐竜博物館入館者数 94万人</b></p> <p>恐竜博物館の機能拡充の必要性や立地場所、整備運営手法等について、議論の材料を得るための調査検討を行いました。</p>

項目	実施結果
<p>○恐竜学研究の世界拠点へ【共同研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4次恐竜化石発掘調査において、骨化石の密集エリアを掘削、調査するほか、中部縦貫自動車道のトンネル工事の本格化に合わせ大野市和泉地区でも化石調査等を実施します。</li> <li>国内をはじめ、中国、タイなど海外での共同発掘調査・研究を継続して進めます。また、県立大学とゴビ砂漠での化石発掘調査を開始し、世界レベルの研究を進めます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>第4次発掘調査を7月下旬から9月上旬まで実施した結果、オルニトミモサウルス類の化石を含む約3,200点の脊椎動物の化石を発見しました。発見した化石は恐竜博物館に展示しています。</p> <p>また、中部縦貫自動車の工事現場およびその周辺地域における地層等の現場踏査を行いました。今後、トンネルの掘削工事の進捗に合わせて、掘削工事から排出される岩石の調査も実施していきます。</p> <p>国内では、徳島県勝浦町における恐竜化石を含む国内最古級の地層や国内最大級の竜脚類の歯化石の発見について発表しました。</p> <p>海外では、タイのシリントーン博物館や中国の浙江自然博物館などと共働で発掘調査を行い、イグアノドン類の化石などを発見しました。また、県立大学や中国科学院古脊椎動物・古人類研究所と共働し、ゴビ砂漠において発掘調査を行い、小型獣脚類の歯化石などを発見しました。</p>
<p>○恐竜ビジネスの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内外の博物館に加え、商業施設等に骨格化石等を貸し出し、巡回展を開催するなど、歳入の更なる確保に努めます。<b>チャレンジ施策</b></li> <li>企業等に対する営業活動の強化や企業とのコラボ、経済団体等との連携強化により、恐竜を活用した商品を開発・販売します。</li> <li>勝山市が整備したジオターミナルと連携し、県内企業による恐竜関連商品の販売機会を拡大するほか、来訪者の県内・市内への周遊観光を促進します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>今年度は、大阪市自然史博物館や福岡市科学館などの県内外の博物館のほか、東京や大阪など大都市圏の大型商業施設など8か所において骨格化石を貸し出し、恐竜展を実施しました。</p> <p>日本郵便（株）とのコラボにより、ジュラチックの切手や寄附金付き年賀状が販売されたほか、昨年度に引き続き、カバヤ食品とのコラボにより、玩具菓子「ほねほねザウルス」を開発・販売するなど、今年度は31アイテムのジュラチック商品を開発し、累計362アイテムとなりました。</p> <p>また、恐竜博物館においては、カレンダーなどの商品監修を行い、7アイテムが販売されました。</p> <p>ジオターミナルにおける恐竜商品やジュラチック商品の販売を働きかけ、恐竜関連商品の販売機会を拡大しました。また、県が実施する観光おもてなし認定講習を受講した観光コンシェルジュが県内全域の観光案内を行うなど、恐竜博物館を起点とした県内・市内の周遊観光を促進しました。</p>

項 目	実 施 結 果
<p>◇観光フロンティア・福井【部局連携】</p> <p>○100万人観光地の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大本山永平寺、永平寺町、県が協力・連携して進める、旧参道の再整備などの永平寺門前の再構築プロジェクトを着実に推進し、国内外から誘客できる環境を整えます。</li> <li>・北陸新幹線敦賀開業、中部縦貫自動車道全線開通に向けて県内を訪れる観光客の滞在時間と観光消費額を増やすため、6つの事業エリアごとに策定した周遊・滞在型観光推進計画に基づき、複数の市町、観光団体や民間事業者が連携し実施するソフト・ハード事業を支援します。</li> </ul> <p><b>チャレンジ施策</b> (平成29年 2か所)</p> <p>100万人観光地数 5か所</p>	<p>[成果等] 目標にはいたりませんでした。</p> <p>永平寺門前で進めていた古地区に基づく旧参道の再生、永平寺川の修景、観光案内所等の整備は平成30年8月に完成し、現在大本山永平寺が平成31年夏オープンに向け宿泊施設の整備を進めています。 このほか、小浜市三丁町の景観整備などを進めました。</p> <p>県内での滞在時間や宿泊数を伸ばし、観光誘客や観光消費額の拡大につなげていくため、県内6エリアで複数市町、観光団体や民間事業者が連携し実施する15のソフト事業および勝山市、鯖江市のハード事業について支援しました。</p> <p>2月の大雪や夏の猛暑による影響など厳しい環境の中、「東尋坊」、「恐竜博物館・かつやま恐竜の森」、「武生中央公園」が100万人を超え、100万人観光地は3か所になりましたが目標を達成することができませんでした。 引き続き、核となる観光拠点の整備や、周遊・滞在効果を高める市町事業への支援などを行い、観光地としての魅力づくりを進め、誘客拡大を図ります。</p> <p>100万人観光地 3か所（見込み）</p>

項目	実施結果
<p>○観光客1300万人の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線金沢開業による誘客効果を持続させるため、民間事業者ともコラボし、引き続き上野駅など首都圏や新幹線沿線において、集中プロモーションや魅力発信の事業を効果的に実施します。</li> <li>小松空港を活用した誘客拡大を図るため、機内誌で県内観光地を紹介するほか、機内食で福井の料理を提供するなど、大手航空会社等と連携した誘客プロモーションを実施します。</li> <li>若狭さとうみハイウェイや京都縦貫自動車道を活用して誘客拡大を図るため、日本遺産など共通の素材を活かした観光ルートを開発するなど、京都府、滋賀県等と連携し広域周遊観光を推進するほか、嶺南6市町とともに「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンを実施します。</li> <li>北陸新幹線敦賀開業による首都圏からの利便性向上に備え、コンベンションの誘致活動、開催時の負担軽減等の支援を強化し、本県への観光誘客拡大を図ります。<b>チャレンジ施策</b></li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>首都圏および北陸新幹線沿線において、年間を通じた多様なプロモーションを実施しました。</p> <p>6月にはJR上野駅において、大型フラッグや恐竜バルーンの展示、9月にはツーリズムEXPOジャパンにおいて恐竜骨格の展示、2月にはJR大宮駅において、恐竜ライブショー「DINO-A-LIVE」を開催するなど、恐竜を活かした出向宣伝などを実施しました。</p> <p>また、年間を通じて、市町や民間事業者と連携し、新宿駅、高崎駅、長野駅などJR東日本管内の主要駅や新幹線沿線駅において集中的なプロモーションを行うとともに、北陸3県やJRグループ等と共動し、年間を通して「日本の美は、北陸にあり。」などのキャンペーンを展開しました。</p> <p>さらに、首都圏の約120のJR駅に、年4回「FUKU I HAPPINESS」シリーズの観光ポスターを掲出し、本県の観光PRと認知度の向上を図りました。</p> <p>航空会社と連携し、機内誌での特集記事の掲載、機内での観光PRビデオの放映、機内食での福井の料理提供を実施しました。</p> <p>また、石川県と連携し、羽田ー小松便を利用した旅行商品の造成を支援しました。</p> <p>7月から11月までの5か月間、「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンの第5弾を嶺南市町とともに開催しました。</p> <p>国体・障スポの若狭会場をはじめ、若狭の観光施設をまわる「若狭路周遊モバイルスタンプラリー」によるPRなどにより、誘客拡大や周遊促進を図りました。</p> <p>また、滋賀県、京都府等と連携した高速道路企画割引を実施するとともに、日本遺産を巡るモデルコースを掲載するなど「福井・京都・滋賀 日本遺産ぐるっとマップ」を改訂し、広域誘客の推進を図りました。</p> <p>今年度から初めて、県と福井観光コンベンションビューローと連携して誘致活動のための営業を実施するとともに、開催時の負担軽減を図るため、31年度開催分から、開催助成制度を拡大するなど支援を強化しました。</p>

項目	実施結果
<p>・幕末明治福井150年博や福井しあわせ元気国体・障スポの開催による全国からの誘客を進めるとともに、「ガイドブック」などを活用し、より多くの福井の観光地や魅力の周知を図ります。<b>チャレンジ施策</b> (平成29年 観光客入込数 1,304万人 観光消費額 977億円)</p> <p style="text-align: right;"><b>観光客入込数 1,350万人</b> <b>観光消費額 1,000億円</b></p> <p>※県観光統計では28年度から時点修正後の積算係数を用いた数値を公表しているが、経年変化を見るため、修正前の係数を用いた数値で算定している。</p>	<p>旅行会社へ営業を行い、150年博に関する旅行商品の造成を促し、17件のツアーが実現したほか、老舗巡りや幕末の地を巡る謎解きクイズラリーを実施し、県内外からの参加者が2万人を超えました。</p> <p>また、国体・障スポにあわせて作成した「観光ガイドブック」を活用した案内や県民一人ひとりがおもてなしを実践し、福井の観光地や魅力をPRしました。</p> <p style="text-align: right;"><b>観光客入込数 1,380万人（見込み）</b> <b>観光消費額 1,000億円（見込み）</b></p>
<p>○奥越を自然環境の体験学習エリアに</p> <p>・通年楽しめる北陸唯一の人工ゲレンデを有するスキーパークを中心に「通年型・滞在型の体験学習・スポーツエリア」として、大野市や民間と共働したイベントの実施、教育旅行やスポーツ合宿の誘致など、六呂師高原全体の誘客拡大を図ります。</p>	<p>〔成果等〕目標を達成しました。</p> <p>夏のスキー体験ができる人工ゲレンデの営業を平成30年4月に開始し、オープンイベントとしてスキーパークを中心に様々な体験イベントや特産品の販売などを行いました</p> <p>また、ミルク工房奥越前を中心に、福井工業大学と連携した星空ハンモックの催しやアルプス音楽祭、雪まつりに合わせたスカイランタンイベントなど、六呂師高原の関係者が連携し、「通年型・滞在型の体験学習・スポーツエリア」を目指し、魅力を高めました。</p>

項 目	実 施 結 果
<p><b>○海外誘客の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アジアや欧米等からの誘客を拡大するため、海外の旅行会社のほか、国内の旅行サービス手配業者等に対して“ZEN”ブランドを活用して本県の魅力を売り込みます。</li> <li>香港において石川県と共同で観光説明会を開催します。また、台湾に観光営業窓口を設置し、現地旅行会社への訪問営業を実施するほか、県内観光事業者による営業活動に対して支援を行います。<b>チャレンジ施策</b></li> <li>「昇龍道」や「美の伝説」、「北陸新幹線沿線」など広域観光周遊ルートについて、近隣府県と連携して海外旅行博等でその魅力を売り込み、エリア内への誘客拡大を図ります。</li> <li>台湾や中国等からの教育旅行の誘致を図るため、現地説明会に参加するほか、県内への教育旅行関係者の視察を促進します。</li> <li>外国人受入環境の整備促進のため、県内市町等と連携し消費税免税店対応を促進するほか、観光事業者等を対象にした外国人接客のための研修会を開催します。 (平成 29 年 外国人宿泊者数 61,200 人 消費税免税店数 70 店)</li> </ul> <p>外国人宿泊者数 85,000 人 消費税免税店数 15 店増 累計 85 店</p>	<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>“ZEN”ブランドを活用し、香港・台湾などの東アジアやタイなどの東南アジア、さらに欧米等からの誘客拡大を図るため、海外旅行会社等 366 社や国内の旅行サービス手配業者等 47 社への訪問営業を実施したほか、海外のメディアやブロガー等 96 社・団体による県内視察を支援しました。</p> <p>5月に台湾に本県の観光営業窓口を設置し、現地旅行会社等への継続的な営業活動を行うとともに、5月には台湾での商談会、7月には初めて石川県と連携した合同観光説明会を開催し、県内観光事業者と現地旅行会社等との商談の場を設け、現地の旅行者を惹きつける観光資源や食など本県の魅力を売り込みました。</p> <p>「昇龍道」や「美の伝説」、「北陸新幹線沿線」など本県を含む広域観光周遊ルートについて、アジアや欧州での旅行博で売り込むなど、近隣府県とともに誘客宣伝活動を実施しました。</p> <p>台湾の三大都市（台北、台中、高雄市）で開催された教育旅行説明会に参加し、「年縞」や「恐竜」、「漁業体験」などの教育旅行素材を現地の学校 24 校に直接売り込んだほか、台湾の教育関係者による県内での事前視察を支援しました。</p> <p>県内観光事業者への個別訪問や観光庁との連携によるインバウンド受入対応セミナーの開催等により、消費税免税店対応を働きかけるとともに、航空会社と共働し、県内観光事業者 49 人に対して、外国人接客研修を実施しました。また、海外の大手宿泊予約サイト事業者と連携し、11月から約2か月間、本県の宿泊施設や観光地等に関する特集記事を同サイトに掲載するなど、県内宿泊事業者による受入対応力の向上を図りました。</p> <p>これらの結果、香港や中国、タイなどの東南アジアからの宿泊者が増加し、全国の伸び率を大きく上回る前年比 4 割増で推移していたものの、10月は国体・障スポと重なり宿泊場所の確保が難しく、前年割れしたこともあり、結果的に、過去最多だった昨年の宿泊者数を大きく更新したものの、目標には至りませんでした。</p> <p>今年4月から小松香港定期便が就航することから、香港における石川県との合同プロモーションを充実するとともに、中国からの誘客も強化するなど、本県の魅力を売り込み、誘客拡大を図ります。</p> <p>外国人宿泊者数 79,300 人（速報値） 消費税免税店数 15 店増 累計 85 店</p>

項目	実施結果
<p><b>○観光人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県観光アカデミーを引き続き開講し、本県観光におけるイノベーションを創出するため、現場感覚と理念の両方を持って、観光産業やまちづくりをマネジメントできる人材を育成します。</li> <li>・福井県認定観光ガイド養成講習会を開設し、多彩な観光コースの提案が行える人材を育成し、道の駅や観光案内所等での活動を促進します。</li> <li>・福井しあわせ元気国体・障スポの開催による来県者へのおもてなし力を高めるため、駅の総合案内所等において、認定観光ガイドや観光おもてなし認定者など観光人材を積極的に活用します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>福井県観光アカデミーを引き続き開講し、県内各地の宿泊・交通等の観光事業者や、市町・観光団体の職員など30名が受講しました。</p> <p>地域における観光の中核となる人材を育成するため、現場で役に立つ知識や考え方を習得する実践的な講義を実施したほか、受講者が各エリアの観光振興策を作成し、観光関係者に対してプレゼンテーションしました。</p> <p>旅の目的や滞在時間など観光客のニーズに応じた観光コースの提案等が行える人材を育成するため、福井県認定観光ガイド養成講習会を引き続き開設し、県内各地から34名が受講しました。</p> <p>認定試験を合格した30名が、新たな福井県認定観光ガイドとして県内の道の駅や観光案内所などで観光客に対する案内等を実施することにより、来訪者の満足度を高めます。</p> <p>福井しあわせ元気国体・障スポ期間中、福井駅・敦賀駅の総合案内所において、認定観光ガイドや観光おもてなし認定者41名に「観光コンシェルジュ」として活動いただき、来県者のニーズに合った観光情報等の提供を積極的に行うことにより、県内観光を促進しました。</p>
<p><b>2 国体・障スポの成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に</b></p> <p>◇福井の文化をもっと身近に</p> <p><b>○子どもの文化・芸術活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の小学5年生全員が参加する、県立音楽堂で本格的なプロオーケストラと県立美術館等での鑑賞を組み合わせた「ふれあい文化子どもスクール」を継続開催します。</li> <li>・3年間で県内すべての中学校に福井ゆかりのプロの演奏家を派遣する「出張音楽堂」を、2巡目となる本年度も引き続き実施し、子どもたちが本物の芸術文化に触れる機会を提供します。</li> <li>・学校鑑賞会として県立文化施設の企画展に児童生徒を招くほか、美術、書道、管弦楽、演劇等の分野において、将来、芸術家や指導者等を目指す中高生が一流の芸術家から直接指導を受ける機会を提供します。 (平成29年度 79,080人)</li> </ul> <p>一流の芸術・文化を体験する子どもの数 80,000人</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>「ふれあい文化子どもスクール」では、県立音楽堂での本県出身の指揮者による本格的なプロオーケストラの鑑賞や美術館、歴史博物館等での学芸員の解説による特別展示の鑑賞を行い、県内の小学校188校の5年生全員、約7千名が本物の文化・芸術を体験しました。</p> <p>2巡目となる「出張音楽堂」では、ピアノやヴァイオリン、マリンバなどの分野で県内外において活躍する福井ゆかりの一流の演奏家を県内中学校31校に派遣し、コンサートを開催しました。県内の中学生約8千名に本物の音楽に触れる機会を提供しました。</p> <p>県立美術館などでの学校鑑賞会や、県立美術館所蔵の屏風絵「落葉」のレプリカを活用した出前授業を開催し、小中学生が芸術文化に親しみ、関心を深める機会を提供しました。</p> <p>将来の福井の芸術文化を担う人材を育成するため、美術、書道、演劇、合唱、管弦楽などの分野において、中・高校生が一流の芸術家から直接指導を受ける「ヤング・アート・キャンプ」を実施しました。</p> <p>一流の芸術・文化を体験する子どもの数 80,196人</p>

項目	実施結果
<p>○文化施設の活性化 <b>チャレンジ施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕末明治150年博の展示会場として、福井ゆかりの重要資料の蒐集を進めながら、往時の福井の魅力や各地域が輩出した先人、産業・文化等をテーマにした特別展等を開催し、誘客拡大に努めます。</li> </ul> <p><b>(歴史博物館)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>150年博のメイン会場として、本邦初公開資料など、貴重な本物の資料を多数展示する「幕末維新の激動と福井」展(9～11月)を開催し、福井藩や福井の諸藩の幕末維新期の役割を県内外に発信します。</li> <li>「映像で見る幕末明治福井館(仮称)」や「大河ドラマ館」を整備し、幕末明治に関係する映像や関係資料を一堂に公開するなど、先人の功績、当時の魅力を県内外に強力に発信します。</li> </ul> <p><b>(若狭歴史博物館)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕末から明治へと変わりゆく時代に若狭の人々によって育まれた豊かな文化的世界を紹介する特別展「うきたつ人々～幕末若狭の祭礼・風俗・世相～」(10～11月)を開催するなど若狭の歴史・文化を全国に強力に発信します。</li> </ul> <p><b>(美術館)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開館40周年記念として、ウェールズ国立美術館の豊かなコレクションを紹介する「ターナーからモネへ」展(4～5月)、本県ゆかりの岡倉天心の意思を引き継ぎ横山大観らが再興した日本美術院による日本画の公募展「再興第102回院展・福井展」(6月)、フランス国立図書館の版画コレクションから巨匠ピカソの作品を紹介する「ピカソ版画 大回顧」展(7～8月)などを開催します。</li> <li>150年博の一環として、幕末明治期に活躍した福井ゆかりの作家などの作品を広く紹介する特別展(9～11月)を開催します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>幕末明治福井150年博に向けて松平正直家資料などの重要資料を購入により蒐集し、歴史博物館特別展などにおいて本県の先人の活躍を紹介するとともに全国に向けて発信しました。</p> <p>9月から秋季特別展「幕末維新の激動と福井」を開催し、本邦初公開の坂本龍馬の花押入り書簡、国宝等貴重な歴史資料100点以上をもとに、福井藩をはじめ県内諸藩が果たした役割を県内外に広くアピールしました。坂本龍馬や西郷隆盛の書状の公開は全国ニュースに取り上げられ、県内外から多くの方(観覧者数約8,400人(観光営業部に移管されて以降の特別展としては最大)、県外からの観覧者が全体の約4割)が観覧しました。</p> <p>お盆の時期に合わせ、歴史博物館内に「映像で見る幕末明治福井館」をオープンし、松平春嶽公など4人の先人が語り掛ける「話す先人映像」や幕末明治期の福井の暮らしの映像等を使って子どもたちにもわかりやすく紹介しました。また、館内に「大河ドラマコーナー」を設け、松平春嶽公や橋本左内、由利公正などが登場する大河ドラマの名場面の特別編集映像を放映し、約9千人が観覧しました。</p> <p>幕末明治福井150年博事業の一環として、新たに発見された発心寺所蔵の駕籠を9月まで特別公開したほか、10月には特別展「うきたつ人々～幕末若狭の祭礼・風俗・世相～」を開催し、若狭の豊かな文化的世界を広く発信し、県内外から多くの方が観覧しました。</p> <p>開館40周年を記念した大型企画展として、4月からは「ターナーからモネへ」展、6月には「再興第102回院展・福井展」、7月からは「ピカソ」展を連続開催し、英仏両国の19世紀の風景画から、現代日本画の最高峰、20世紀最大の巨匠・ピカソの独創的な作品まで、幅広い分野の名画の数々を約8万人が鑑賞しました。</p> <p>特別展「幕末明治のアートシーン」は、150年博メイン展示として、歴史博物館や福井市立郷土歴史博物館の特別展と同日開催し、これら3館の周遊を促すラッピングバスの運行、お得に観覧できるプレミアムパスポートの販売などにより相互での誘客拡大を図りました。</p>

項目	実施結果
<p>3 豊かな環境、すぐれた風景を次の時代に</p> <p>◇福井が誇る歴史遺産の発信</p> <p>○日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の「展示・ガイダンス棟」の平成33年度内の開館を目指し、建築および展示の実施設計を行います。</li> <li>日本トップレベルの中世都市遺跡研究の拠点化に向け、考古、文献、建築や庭園史などの分野を超えた調査・研究を進め、特別名勝庭園の再生・鑑賞化など遺跡の魅力を一層向上します。</li> <li>遺跡全体の魅力向上と観光誘客の拡大を図るため、地元福井市との間で、取組体制や既存事業の見直し・充実などについて協議を進めます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>博物館「展示・ガイダンス棟」の建築および展示の実施設計を3月末に完成しました。</p> <p>遺跡研究の拠点化に向けては、庭園史、造園学、考古学、保存科学、建築学等の専門家とともに、特別名勝庭園の再生に向けた、遺構の状態を確認する基礎調査を実施しました。また、中世の建築物や一乗谷の伝承・風習・伝統行事等について他機関との共同調査・研究を行い、その成果を展示や体験講座に活かしました。遺跡では、発掘調査の公開や当時の技術に触れる土壁作りなどの体験プログラムを実施し、多くの観光客が遺跡の魅力を感じました。</p> <p>博物館の開館に向けて、遺跡全体の魅力向上と新幹線開業を契機とした観光誘客の拡大を図るため、福井市との間で、遺跡の利活用を効果的に推進する体制のあり方や既存事業の見直し・充実などについて検討しました。</p>
<p>○福井の遺産を日本・世界遺産へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産に認定された「御食国若狭と鯖街道」、「北前船寄港地・船主集落」および「六古窯」について、関係市町と連携して県内外に発信し、誘客拡大を図ります。さらに、一乗谷朝倉氏遺跡など中世の歴史遺産をはじめ、本県に集積する魅力ある遺産群の「日本遺産」認定を国に働きかけます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>前年度までの既認定地（「北前船寄港地・船主集落」（敦賀市）、「御食国若狭と鯖街道」（小浜市、若狭町））については、それぞれの市町で日本遺産を活用し地域活性化に取り組む地域団体の活動を支援し、全国にその魅力を発信しました。「御食国若狭と鯖街道」については、協議会を通じて情報発信のほか、観光客の受け入れ体制の整備等を支援しました。</p> <p>平成30年5月、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に坂井市および小浜市が追加認定され、7月に、その魅力を発信するフォーラムを開催しました。</p> <p>日本遺産の第5弾の申請（平成31年度分（31年5月認定予定））については、文化庁に対し「日本遺産」認定を要望するとともに、福井市、勝山市と共同で、中世から近世にかけてまちづくりに使われた石をテーマに申請を行うなど本県から7件の新規申請を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり越前・福井～【福井県、福井市、勝山市】</li> <li>海を越えた鉄道～世界へつながる 鉄道のキセキ～【敦賀市、南越前町、滋賀県長浜市】</li> <li>美と不老長寿の神秘～小浜に息づく八百比丘尼伝説～【小浜市】</li> <li>結の心が育んだ芸術文化【大野市】</li> <li>越前工芸伝説 過去と未来を繋ぐもの【越前市、鯖江市、越前町】</li> <li>「暦」歳時記。二十四節気の千年集落～都の北に秘められた海川里山の千年集落街道～【高浜町、おおい町、京都府京都市、南丹市】</li> <li>日本を楽しむテキスト『おくのほそ道』～日本人の美意識を磨く旅～【敦賀市、岐阜県大垣市ほか】</li> </ul>

項目	実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年、国の重要無形文化財に指定された「越前鳥の子紙」について、他産地とも連携しながら、ユネスコ無形文化遺産の「和紙」への早期追加登録を目指します。また、「糸崎の仏舞」の渡来芸・舞台芸分野での登録、「水海の田楽・能舞」、「睦月神事」の田楽分野での登録を国に働きかけます。</li> </ul>	<p>4月および8月に、越前和紙をユネスコ無形文化遺産に早期に追加登録すること、提案件数や審査頻度の制限を緩和して審査するようユネスコに働きかけることについて文化庁に対し要望を行いました。あわせて、「糸崎の仏舞」の渡来芸・舞台芸分野での登録、「水海の田楽・能舞」、「睦月神事」の田楽分野での登録についても文化庁に対し強く要望を行いました。</p>
<p><b>○豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの伝統的民家・まちなみ保存の拡大を図るため、「福井ふるさと百景活動団体」と「伝統的民家群保存活用推進地区」の認定・指定を継続して進めます。 (平成29年度 累計85団体)</li> </ul> <p><b>福井ふるさと百景活動団体・伝統的民家群保存活用推進地区</b> 8団体増 累計93団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井らしい特徴を持つ市町を越えた広域的な景観を発信するため、6つの景観軸ごとに構成市町等と事業計画策定や実施のための協議を進め、景観づくりや保全に必要なハード事業への支援を行います。</li> <li>・越前海岸の水仙畑については、平成32年度(2020年度)の重要文化的景観選定を目指すための保存調査を継続し、報告書を作成します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>福井ふるさと百景選定地において景観の保全・活用に取り組む「福井ふるさと百景活動団体」を今年度新たに4団体認定しました。また、伝統的民家が集積している福井らしい集落や町並み景観の保全に取り組む「伝統的民家群保存活用推進地区」を今年度新たに4地区指定し、その活動を支援しました。</p> <p><b>福井ふるさと百景活動団体・伝統的民家群保存活用推進地区</b> 8団体増 累計93団体</p> <p>福井らしい景観資源が集積し、優先的な景観施策の実施が望まれる6つの景観軸において、中部縦貫自動車道沿線への芝桜植栽や西の鯖街道などへの視点場整備など市町が行う景観づくり事業を支援しました。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜文化景観軸、若狭里山里海湖景観軸における視点場整備などの事業に着手</li> <li>・旧北陸道景観軸、越前海岸景観軸、越前ものづくりの里景観軸における視点場整備などの事業計画を策定</li> <li>・北陸新幹線沿線景観軸における視点場整備箇所を選定について市町と協議を継続</li> </ul> </div> <p>重要文化的景観の選定を目指す越前海岸の水仙畑については、4回の有識者検討会を経て、保存調査報告書を3月末にとりまとめました。</p>

**【実施結果の区分】**

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)